



校長室だより No.11 令和6年6月12日(水)

プールの季節 4,5,6年プール掃除

今週からのプール学習に向けて、5月末に4,5,6年生がプール掃除を行いました。4年生は更衣室やシャワー室の階段を、5年生はプール周辺の排水溝やプールサイド、飛び込み台などを、6年生はプールの側面や床面、流しなどをきれいにし、全校児童が安全で清潔に使えるよう整えてくれました。今年度は梅雨入りが遅く、今週は暑さも増してきてプールの時間を楽しみにしている子が多いと思います。また、1年生にとっては初めての小学校でのプールで、保育園や幼稚園と違って、広々としたプール

で泳ぐのは、きっとわくわくするに違いありません。早く水に慣れて、水と仲良しになれるとよいです。2年生以上は、これまでのプールカードを振り返り、昨年度よりも少しでも泳ぎが上達し、級が上がっていくといいですね。水泳の学習は楽しいですが、一方で、一つ間違えると命に関わる危険性があります。自分勝手な行動は絶対にせず、必ずルールを守って、安全第一で取り組んでいきましょう。みんなが元気に笑顔でいることが一番です。



常磐の鬼まつりを形に 4年生造形教室



5月29日(水)に4年生がおかざき世界子ども美術博物館を訪れ、造形教室を実施しました。



常磐の鬼まつりにちなんで粘土で鬼のお面を制作し、下絵をもとにして自分の思いを形にしていきました。まずは粘土をこねて、粘土に含まれた水分や成分を均一にします。また、粘土の中にある空気(気泡)を抜くことで、粘土を焼いたときに空気が膨張して割れたり破裂したりするのを防ぎます。子供たちは粘土の感触を楽しみながら念入りにこねた後、のし棒で丸く帽子のような形にし、お面のもととなる形を作りました。続けてヘラで粘土を切りながら、耳や角、口などを形作っていきました。最後に面に目や鼻、眉毛、飾りを付け加えて、自分のイメージした鬼の形に近づけていきました。子供たちが夢中になって制作した鬼のお面はどれも魅力あふれるものばかりで、焼き上がりが楽しみでなりません。おかざきっ子展では、個性豊かな創造性あふれる作品が飾られ、常磐小創立150周年に華を添えてくれるでしょう。今回は、粘土と向き合う子供たちの姿をたくさん載せさせていただきました。

